

次号予告

特集 将来を担う若手研究者たち

- グラフ・ネットワークと経済分析を鍵として.....土中哲秀 (九州大学)
「娯楽ゲーム」の数理的解析.....木谷裕紀 (九州大学)
数式処理を用いた新たな最適性必要条件の導出.....庵 智幸 (大阪大学)
基数制約つき平均・分散モデルに対する切除平面法.....小林 健 (東京工業大学)
縮小時代の公共交通ネットワーク分析—時空間ネットワークを用いたダイヤの評価—
.....長谷川大輔 (東京大学)
Least-distance Range Adjusted Measureに基づく効率性評価およびベンチマーキング
.....王 緒 (早稲田大学)
とある若手の研究活動—数理・計量ファイナンスの観点から—.....下清水慎 (東京都立大学)

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧に必要なユーザー名とパスワードは、会員マイページに掲載しています。

編集後記

●今月号は「イジングマシンとOR」の特集でした。イジングマシンは物理現象を利用した最適化計算機であり、メタヒューリスティクスを実現した計算機の一つとみなすこともできます。イジングマシンに限らず自然現象のメカニズムが新たな計算原理の着想を与えてくれることは少なくありません。一方で、自然現象のメカニズムが個々の最適化問題に対する最善の計算原理を提供してくれるわけではなく、提案手法の妥当性を担保するのは地道な実験と解析の積み重ねであることに注意する必要があります。また、自然現象のメカニズムにとらわれて自由な発想が妨げられないよう注意する必要もあります。特集では、物理現象のメカニズムにとらわれない現実の問題解決を指向した取り組みが多く、イジングマシンが物理現象のモデルから

数理最適化の手法に変わりつつあると感じました。

●もう一つ、イジングマシンを用いた最適化計算を手軽に利用できるサービスを構築したことが、さまざまな応用事例やベンチマークによる性能評価など幅広い取り組みに繋がったと実感させられました。研究者にとって研究成果を論文にまとめることは一つの大きな区切りとなりますが、実務に携わる人々が論文から研究成果を取り出して現実の問題解決に活用することは容易ではありません。問題解決の科学に携わる一研究者として、研究成果をサービスとして幅広い応用分野に素早く提供する枠組みを構築することは一つの大きな目標だと思っています。

(梅谷俊治)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 野々部 宏司 (法政大学)
特集担当編集委員 井床 利生 (IBM基礎研究所)
委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 梅谷 俊治 (大阪大学), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和4年6月号 第67巻 第6号 通巻738号

代表者 山上 伸

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- 本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- 本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。